

東高 SSH 通信 Challenge The World

平成 27 年度第 3 号 H27.7.16

兵庫県立加古川東高等学校
理数科・SSH 推進部発行

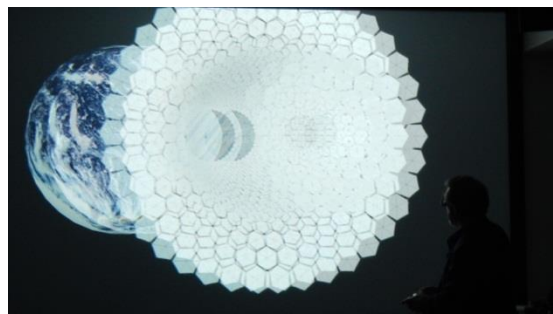
「第 30 回 宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 兵庫・神戸大会」

H27 年 7 月 8 日、神戸国際展示場にてポスター発表を実施した。

本校からは、地学部の阿江俊明・紙谷康平・中川潤哉（3 年）梶下賀代・屋敷智咲（2 年）が「Using Mineral Scale to Control Water in Microgravity」について英語で発表。海外の研究者や JAXA 研究員と質疑応答を行い、高い評価を受けた。



ISTS は、日本国内外の宇宙工学、宇宙科学、宇宙医学、宇宙法等宇宙分野のほとんどをカバーする広い分野の専門家が研究発表を通じて交流を深め宇宙活動を一層活性化することと、次世代を担う人材育成を目的としたシンポジウムであり、日本国内では最大規模の宇宙国際会議である。今回の地学部の参加は事前の論文申請による審査の結果、一般の技術者や大学院生に混じり、高校生としては特例の、一般の部での参加が許可されたものである。（高校生同士のセッション等ではない）。本大会は国際会議であるため、事前のエントリーから発表・質疑応答も含めて、すべて英語で実施した。



また、シンポジウム後には神戸大学統合研究拠点にて、旧 NASA 職員の John 氏らの新しい宇宙開発事業についての説明と、今後の研究についての進め方等の指南を受け、国際的な 1 日となった。



* 今回の発表にあたり、本校 ALT のジェニファー先生、ハリー先生、そして顧問のケイン先生には英語指導で大変お世話になりました。この場を借りて謝意を表します。（文責：猪股雅美）